

分析試験成績書

依頼者 有限会社 中村ツキ板

検体名 楠の木にアクリル樹脂含有した木材

財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木5番1号



2011年(平成23年)03月23日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
溶出試験	1
ヒ素(As ₂ O ₃ として)(溶媒:4V/V%酢酸)	検出せず	0.05 µg/ml		DDTC-Ag吸光光度法
重金属(Pbとして)(溶媒:4V/V%酢酸)	検出せず	1 µg/ml		硫化ナトリウム比色法
フェノール類(フェノールとして)(溶媒:水)	検出せず	0.5 µg/ml		4-アミノアンチピリン吸光光度法
ホルムアルデヒド(溶媒:水)	検出せず	0.5 µg/ml		アセチルアセトン吸光光度法

注1. 溶出条件:表面積1cm² 当たり2mlの溶媒を用い、60℃で30分間浸漬溶出

以上



Japan
Food
Research
Laboratories

第 11024685001-01 号
2011年(平成23年)04月19日

試験報告書

依頼者 有限会社 中村ツキ板

財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 楠の木にアクリル樹脂含有した木材

表 題 抗菌力試験

2011年(平成23年)03月22日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

抗菌力試験

1 依頼者

有限会社 中村ツキ板

2 検体

楠の木にアクリル樹脂含有した木材

3 試験概要

JIS L 1902 : 2008「繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果」9 定性試験(ハロー法)を参考にして試験片の抗菌力試験を行った。

なお、試験は以下に示す2菌株で実施し、検体は高圧蒸気滅菌(121 °C, 15分間)を行わずに試験に供した。

Staphylococcus aureus subsp. *aureus* NBRC 12732(黄色ぶどう球菌)

Escherichia coli NBRC 3301(大腸菌)

4 試験結果

結果を表-1に示した。また、培養終了時の混釈平板培地の一例を写真-1及び2に示した。

表-1 試験片の試験菌に対するハロー(増殖阻止帯)形成の有無

試験菌	菌濃度(/mL)	対 象	ハローの有無*3
黄色 ぶどう球菌	3.7×10 ⁶	検 体*1	+ (4.0 mm)
		対 照*2	—
大腸菌	1.2×10 ⁶	検 体*1	+ (1.0 mm)
		対 照*2	—

— : ハローを認めず

+ : ハローを認める

*1 検体そのもの

*2 標準布(綿)を28 mm×28 mmの大きさに切断したもの

*3 ()内はハローの幅: Wを示す。

$$W = \frac{T - D}{2}$$

W: ハローの幅(mm)

T: 試験片の長さ+ハローの幅の合計(mm)

D: 試験片の長さ(mm)

培養終了時の混積平板培地の一例



写真-1 黄色ぶどう球菌 検体



写真-2 大腸菌 検体

以 上